

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果
(公表)

討議年月日:令和 5 年 3月 6日

公表:令和 6 年 3月25日

事業所名:コトモスタディ桜町前校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点や改善された取組内容又は取組目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		遊ぶ場所、始まりの会の場所、学習の場所を区別化	賃貸あることで必要な安全対策が思うようこれない。
	2 職員の配置数は適切である	4	1		人員基準に基づいて配置を行なっている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	エレベーターを完備している	クッションマットを敷いているが消耗品のため今後取り替えが必要。 建物1階の玄関に段差があるためご用命の際は施設に連絡をいただく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	3	3 校舎内で改善提案を行なっている	限られた職員の提案が多くなるので広く提案をしやすい仕組みを整える。 振り返りができていないので行事終了ごとにアンケートをとる
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		保護者アンケートの実施について校舎内で周知し、共有と改善に努める。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		現在第三者評価を行っていません。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			学習時間をどのように確保していくか、校舎内でも検討していく
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		日々のモニタリング記録を残しています。	計画に対する結果、評価の共有が曖昧になっているので支援会議等で共有する場を設けている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		SM社会生活能力検査の導入を検討していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	テーマに対して活動内容が連続しないように注意をしている。	個人によって内容に差が表れるので校舎内での標準化を図る。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	4		平日、休日、長期休暇と利用時間に変更がありません。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		個別支援と集団支援をお子様状況に合わせて行なっております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	2 活動内容の共有を前週に行なっている。	利用者の状況に合わせたできる限りの対応を校舎会議、終礼等で共有、改善をする。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	5		日々の記録をモニタリング表に記入している。その場で共有すべきことは終礼で共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	1		ガイドラインにおけるどの部分が日々の活動にあたるのかを周知する
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	4		送迎がないため学校との送迎に関する情報共有は行なっておりません。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		医療的ケア児の受け入れは現在行なっておりません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			主に相談支援事業所から情報をいただいております。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		対象の児童がいらないため連携をしていません。今後、利用状況により連携を深めていく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		市役所はセンターの研修を周知しています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		現在、交流は行なっておりません。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		自立支援協議会へ参加をしております。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	1	4		コトモ全体としてペアレントトレーニングやコトモカフェの保護者支援の場を設けている。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		桜町前校では実施できておりませんが、コトモ全体としてペアレントトレーニングやコトモカフェの保護者支援の場を設けている。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		苦情に対して迅速に対応できるように校舎内での報連相を確認いたします。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		HUGマイページにて活動内容を公開している。お知らせ等もメール配信している。
	35 個人情報に十分注意している	4	1		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		桜町前校では地域の方との交流の場が設けられていません。今後検討する。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3		保護者への周知が徹底できていない。面談や契約時に伝える。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		食事やおやつ提供がなく、アレルギーの確認はとっているが医師との連携は行なっていない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	1 毎回会議等で共有している。	記入忘れをしてしまうことあるので記入を心がける